



かながわ部部報

2026-27 年度 第 1 号



2026 年 8 月 24 日発行

今年度の主題とスローガン

国際会長 ヨハン・ヴィルヘルム・エルトヴィク（ノルウェー）

- 主題: ブルーミュージックで眠れる巨人を目覚めさせる
- スローガン: YMI — 人生を力づける

アジア太平洋地域会長 ラチャン・マニーカーン（タイ）

- 主題: 「アジア太平洋をブルーミュージックで目覚めさせる」
- スローガン: “YMI — Empowering Life”（人生を力づける）

東日本区 山下真 理事（十勝クラブ）

- 主題: 挑戦なくして進化なし
- スローガン: 響け 挑戦のブルーミュージック

かながわ部 佐藤節子 部長（厚木クラブ）

- 主題: ～一緒にワイズの未来を輝かせましょう～
- スローガン: 今を大切に、常に前進！ 「輝いていたい、常に前進を」

1. かながわ部部長あいさつ.....	2
2. 横浜 YMCA 総主事メッセージ	3
3. 東日本区役員メッセージ	3
4. かながわ部役員メッセージ	6
5. 各クラブ会長メッセージ	11
6. 熊本地震 YMCA 緊急支援募金のお願い	15
7. かながわ部大会のお知らせ	16
8. かながわ部の主な行事予定	17
9. 国際会長主題「ブルーミュージック」とは.....	18
【編集後記】	18



1. かながわ部部長あいさつ

～一緒にワイズの未来を輝かせましょう～
今を大切に 常に前進！



かながわ部部長
佐藤 節子
(厚木クラブ)

2026年7月1日より部長主題～一緒にワイズの未来を輝かせましょう～副題今を大切に、常に前進！を掲げて部長を拝命させていただきました。温もりのある居心地の良い居場所づくり、時代のニーズに合わせた環境づくりを通して、皆様とともに、一生懸命務めさせていただき所存でございます。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

ワイズメンズクラブはYMCA活動への支援をもって社会への奉仕を行う団体です。ワイズメン同士が絆を深め合いワイズライフを楽しみながらYMCAと共に輝かしい未来を拓きたいと願っています。併せて次の世代、世代をつくるユースへの支援をとおして、ユースたち自らが社会を変えていけるよう支えたいと思います。この目的を達成するための下記行事と体制で頑張ります。

■ 4つの事業の展開を強化します

- ①地域奉仕・Yサ事業 ②会員増強事業
- ③国際・交流事業 ④ユース事業

■ 横浜 YMCA との協働と協力

- ・第33回エイズ文化フォーラム（8月）
- ・第29回横浜 YMCA ティリティラン（10月）
- ・クリスマス合同礼拝（12月）・バザーほか
- ・Y-Ys 協議会（年4回開催）
- ・かながわ部納涼会 8月ロイヤルホール横浜
- ・合同新年会 2027年1月

・合同ワイワイ交流会 2027年5月三浦YMCA

■ 2026-2027年度 かながわ部役員

役 職	氏 名	所属クラブ
部 長	佐藤 節子	厚木
次期部長	古賀健一郎	横浜
直前部長	兵藤 芳朗	鎌倉
書 記	坂口 直樹	横浜つづき
会 計	古田 和彦	横浜
地域奉仕	久保 勝昭	横浜つるみ
会員増強	黒川 勝	金沢八景
国際・交流	今城 高之	横浜つづき
ユース	斎藤 宙也	横浜
メネット連絡員	佐藤 節子	厚木
監 事	鈴木 茂	横浜つづき
担当主事	森山 真治	横浜つづき

(今年度第一回評議会の様子)



(部長バッジ引継ぎ)



2. 横浜 YMCA 総主事メッセージ

「YMCA も一緒に未来を」



横浜 YMCA 総主事
佐竹 博

日頃より YMCA の諸活動に対し、多大なるご支援とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。今年度、佐藤節子部長が掲げられた主題「一緒にワイズの未来を輝かせましょう」およびスローガン「今を大切に、常に前進！」に触れ、私はそこに停滞を許さない強い未来志向を感じ、大変心強く思っております。

一般に、現状維持や安定は「地に足の着いた堅実な道」と思われがちです。しかし、変化の激しい時代において、わずかな停滞は気付かぬうちに徐々に減速し、後戻りできない事態を招く恐れがあります。私たちは過去に、既存のプログラムを守ることに固執するあまり社会のニーズを見誤り、自らを「ゆでガエル」のように追い詰めてしまった経験があります。だからこそ、今という時を慈しみつつも、果敢に前進しようとする今年のメッセージには、極めて力強い決意が宿っていると感じるのです。

今日、私たちは人口減少や人手不足、不安定な国際情勢による物価高騰など、かつて「当たり前」であった日常が揺らぐ時代を生きています。このような時こそ、YMCA とワイズメンズクラブが長年共有してきた「平和を願い、創造する」という理念の真価が問われます。時代に即した手法を取り入れながら、互いの違いを認め、深く尊重し合い、交流を深めていくこと。このパートナーシップこそ

が、困難な時代を乗り越える礎となります。

ワイズメンズクラブの活性化は、そのまま YMCA 会員運動の活性化に直結します。会員の皆様が情熱をもって活動され、共に汗を流してくださる姿は、私にとって大きな励みです。佐藤部長を中心に、信頼し合い、共に未来を拓く新たな一步を踏み出せることを心より願っております。今年度も、変わらぬ伴走をどうぞよろしくお願い申し上げます。

3. 東日本区役員メッセージ

かながわ部のますますの発展を



東日本区理事
山下 真
(十勝クラブ)

今年から東日本区ロゴにおいて、沖縄は白抜きで表示されることとなりました。それを見るたびに、かながわ部がたどってきた変遷とその歴史の重みを深く感じます。

かながわ部の名称変更は、禍福あざなえる時代にあっても、常に前へ進もうとする皆さまの姿勢を象徴するものです。

昨年のユースボランティアリーダーズフォーラムで、ユースに対するあたたかいまなざしと共に成長しようとする皆さまのお働きに、私は大きな心強さを覚えました。

横浜 YMCA は、多くのユースリーダーを抱えユースリーダーのより所、YMCA 運動にとっても青少年育成の象徴的な存在として位置づけられております。

皆さまが今後もユースの活動を陰から支え続け、そのことが皆さま自身の充実したクラブライフの



実現につながることを、心より祈念申し上げます。
その歩みが若者たちの心に「ワイズ」の文字を刻みつけ、いつか私たちの時代を引き継ぐ者となることに、夢を託したいと思います。

**のぼりを掲げ、共にワイズの
未来を輝かせよう**



**CS・Yサ事業主任
深澤勇弘
(熱海クラブ)**

かながわ部の皆様、第一回部報の発行おめでとうございます。東日本区 CS・Y サ主任としてご挨拶申し上げます。

佐藤節子部長が掲げられる主題「一緒にワイズの未来を輝かせましょう」この素晴らしい目標を実現する強力な武器となるのが、地域に根ざした CS 活動です。

前期に続き今期も私たちは奉仕の現場で「ワイズののぼり」を高く掲げ、クラブの存在を力強くアピールする方針を立てました。YMCA のイベントや地域のバザーといった CS 活動の場は、絶好の PR の舞台です。活動をただのボランティアで終わらせず、のぼりを立てて私たちの名前を地域社会の目に触れさせることで、活動への共感や新たな仲間づくりへと確実に繋がっていきます。

地域への貢献とクラブのアピールを両輪として進むことが、ワイズの未来を輝かせる第一歩です。

かながわ部の皆様がのぼりを掲げ、活気に満ちた活動を展開されることを心より期待しております。

今年度の会員増強事業の進め方



**会員増強事業主任
大澤和子
(所沢クラブ)**

今年も理事直轄としてあらゆる委員会と連携しながら事業を進めていきたいです。

特に注力したいのは、以下 4 点です。①ユースエンパワーメントの応援。報告会に家族や友人を招くこと。②CS・Y サ活動の活性化として、各種イベントを充実させること。③35 歳までのユースのための、会費減免の可能性を探ること。④交流の愉しさにあなたの「オンリーワン」を誘ってください。かけがえのない友人や知人を招き、一緒に楽しむこと。

新入会員の入会は、みなさんの日常活動の結果です。奉仕や交流の愉しさが生み出される「クラブライフの充実」こそが、「入ってみたいクラブ」づくり、そして「辞めたくないクラブ」づくりに直結します。私たちが生き生きと活動することこそが、最大の会員増強なのです。

そうすれば、佐藤部長のスローガン「一緒にワイズの未来を輝かせましょう」を実現できると信じます。



若者に異なる世界を見せたい！



国際・交流事業主任
山本 剛史郎
(川越クラブ)

2026-2027 年度の東日本区 国際・交流事業の主題は、「若者に異なる世界を見せたい！」です。この主題は、2025-2026 年度から引き続き掲げているものであり、山下真理事が 2 年間にわたり東日本区理事を務め、私も国際・交流事業主任として 2 年間継続して担当することから、基本方針に変更はありません。

私たちは、国際・交流事業を通して、より多くの若者が世界へ目を向け、多様な文化や価値観に触れることで、新たな視点を身につけてほしいと願っています。そして、その経験を通じて、多様性を尊重し、互いに共生・共存する姿勢を育み、自由の大切さを理解するとともに、自己中心的・自国中心的な考え方を乗り越えていくことの重要性を学んでほしいと考えています。これは、YMCA およびワイズメンズクラブが大切にしてきた価値観を、次世代へ受け継いでいくための重要な取り組みでもあります。

具体的には①「インド体験・交流プログラム」の継続、②BF、IBC の締結などワイズメンにより海外とのつながりを意識させる、③STEP (Short Term Youth Exchange Program) 若者の短期海外留学プログラム、iGo などの推進などなど。どれもこれも若者に海外に目を向けさせるといふことには変わりありません。これからも国際・交流事業にご理解、ご協力をお願いします。

「beyond us」——境界を越えて



ユース事業主任
水越 正高
(甲府 21 クラブ)

東日本区ユース事業主任を務めております、甲府 21 クラブの水越正高です。

今年度のユース事業は二つの柱で進んでおります。一つは、9 月 4 日から 6 日に八王子・わくわくヴィレッジで開催する第 38 回ユースボランティアリーダーズフォーラム (YVLF)。テーマは「beyond us」- 「私たち」の境界を越える-。約 30 名のユースが集い、立場や所属の枠を越えた対話に挑みます。もう一つは、9 月にマレーシア・ペナンで開催される第 20 回国際ユースコンボケーション (IYC2026)。東日本区からは 2 名の若者を派遣いたします。

かながわ部の底力を感じたのは、昨年度の YVLF でした。主幹を務める横浜 YMCA を、部の皆様が当たり前のように支えておられる。その姿に、ユースを見守り育てる土壌の豊かさを見た思いがいたしました。今年度も齋藤宙也主査を中心に、部内のユースの声をぜひ東日本区へお届けください。若い世代が安心して挑戦できる場を、ともにつくってまいりましょう。



監事就任にあたり



東日本区財政担当監事
若木一美
(鎌倉クラブ)

会務の執行責任者であった理事が監事に就任することに疑義を呈して約15年が過ぎました。今期監事に選任されましたので、先ず湘南地区まで足を運んでおられた当時の理事が所属しておられたクラブ関係者に7月末お会いし、就任の報告をさせていただきました。

さて、収支決算書をご覧いただいたとおり区の収入源は会員の会費のみであり、数年前から善意の寄付による運営費の捻出や旅費交通費、手当等の見直しで運営しておりますが、団体の継続性の観点からは責任ある団体とは言えません。

今期財政検討委員会を発足し、検討を進めるとしてありますが、就職氷河期世代や非正規雇用世代が社会の中心を担う現在、さまざまな団体活動をされ、経済的にも安定していた年代層の会員で構成される私達の活動そのものを再構築する必要があると考えます。

4. かながわ部役員メッセージ

『かながわ部の新たな歩みに向けて』



次期部長
古賀 健一郎
(横浜クラブ)

まず初めに、かながわ部の歩みを築いてこられた歴代部長をはじめ諸先輩方、そして日頃より部活動を支えてくださる各クラブの皆様に、心より感謝申し上げます。

今日、社会は大きく変化し、人と人とのつながりが希薄になりつつあります。また、世界では戦争や紛争が絶えることなく、平和の尊さが改めて問われています。このような時代だからこそ、私たちはワイズメンズクラブが大切にしてきた友情と奉仕の精神を礎に、クラブ相互の交流を深め、横浜YMCAとの協働、地域社会への奉仕、そして未来を担うユースの育成をさらに推し進めていきたいと願っております。

一人ひとりの小さな行動が大きな力となり、その「つながり」がかながわ部の新たな歩みを支え、平和で希望に満ちた地域社会と未来を築く力になることを信じています。皆様との出会いと友情を大切にしながら、かながわ部のさらなる発展のために誠実に歩んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



直前部長の一言



直前部長
兵藤 芳朗
(鎌倉クラブ)

2026-27 年度「かながわ部」佐藤部長のもとで直前部長としての任を務めさせていただきます。といってもどれだけかながわ部のお役に立てるか分かりませんが、2025-26 年度「かながわ部」の皆様のお力添えをいただきながらの部長としての経験を少しでもお返しできたらと思っています。

前年度は、部名を変更した「かながわ部」の初代部長として、かながわ部の「絆」を大切に、部内の交流に力を注いできました。

今年度、佐藤部長は部長主題として「～一緒にワイズの未来を輝かせましょう～」、副題として「今を大切に、常に前進！」を掲げて「かながわ部」をけん引されます。役員の皆様、会員の皆様と一緒に、佐藤部長を支え、輝きがある「かながわ部」に向けて、力を合わせて活動してまいりたいと思います。

「初めて部書記を仰せつかりましたーしっかり佐藤かながわ部を支えたい」



部書記
坂口 直樹
(横浜つづき)

横浜つづきクラブの坂口です。ワイズメンズクラブに入会して 5 年、昨年度初めてつづきクラブの会長を仰せつかり、先輩たちを見よう見まねで何とか一年を過ごしました。今年度は佐藤部長からのお声がけで、不安ながら初めての部書記にチャレンジいたします。東日本区のスローガンは「挑戦なくして進化なし」ですから私もそれに倣い、気落ちしそうな自分を奮い立たせて変化を恐れず挑戦し、佐藤かながわ部を古田会計と共に支え、「今を大切に、常に前進！」していきたいと思っています。行き届かない点、多々あると思いますが暖かく見守ってください。そしてみなさまのご支援をよろしくお願いします。

25-26 年度部会計を拝命して



部会計
古田和彦
(横浜クラブ)

昨年度に引き続き会計を拝命した横浜クラブの古田和彦です。よろしくお願いいたします。昨年度、区からの補助金がなくなり、固定的な収入は各部からの部費だけで 10 万円そこそこでしたので、大幅な赤字も考えられましたが、部行事である部大会やワイワイ交流会で皆さんからいただいた会費が費用を上回ったことと、会合の後の懇親会での残金があったため 7 万円を超える黒字決算となりました。みなさまのご協力に改めて感謝いたします。今年度も、諸行事は原則会費の範囲で執行することとし、収支均衡を図る予算を立てました。部費の支払いとともに、諸行事の費用負担をよろしくお願いいたします。



佐藤部長の主題は、「共に歩み、交流を深め、部の絆を強めよう！」です。明るく、楽しい部として共に輝いて、交流を深め、絆を強めていきましょう。

地域奉仕・Yサ主査を拝命して



地域奉仕・Yサ主査
久保 勝昭
(横浜つるみ)

2026 年度～27、地域奉仕・Yサ主査の役に就いて、多少戸惑っています。

東日本区のハンドブックを見ると「YMCA に対する奉仕を立案、実行するワイズメンズクラブの事業」とあるが自分なりに掘り下げて考えてみた。地域奉仕の地域とはどこを指しているのか？自分なりに理解して”かながわ部”に属している各クラブが行っている活動について支援して行く事とした。2、3例をあげると、八景クラブが実施している「バスケット大会」「つづきクラブの You & I コンサート」等、他クラブでも必ず1つ以上は実施している。

Y サ (YMCA サービス) についても「ワイズとYMCA の協力関係を強化」をする為の支援である。エイズ文化フォーラム、Y-Y's 協議会、チャリティーラン等たくさんある。何処までやれるか分からないが“邪魔”にならないように頑張りたい。

会員増強事業主査のチャレンジ

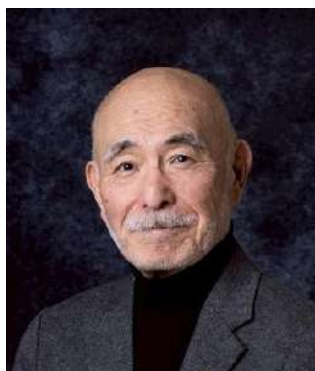


会員増強事業主査
黒川 勝
(金沢八景クラブ)

佐藤部長率いる2026チームがいよいよスタートしました。私に課せられたミッションは、会員増強を担当せよとのことですが、会員の高齢化、アクティブなメンバーの固定化、新規会員が溶け込みにくいなど、各クラブ共通の課題ではないかと思います。喫緊の課題は、新たな会員が増えないということではありますが、クラブによってはそれぞれに対策を講じて会員増強に成功しているクラブもあります。横浜つづきクラブでは、会員募集のリーフレットを作成し、どのような場所に配布をしているかはわかりませんが、効果が上がっているとの報告を聞いています。それぞれのクラブの事情に応じて出来ることとできないことはあるかとは思いますが、とにかくチャレンジしてみよう、一人でも多くの人と接してワイズメンズクラブの良さや楽しさ、世界に繋がるネットワーク、若者たちとの交流などを伝えていくことの繰り返しで、必ず新たな出会いがあることと思います。会員増強にはこうすれば必ず解決できるという答えはありません。それぞれのクラブの一人一人が周りを見回して、まずはひとりがひとり、声をかけてみることから始めていきましょう。一年間、どうぞよろしくお願い申し上げます。



国際・交流事業主査を拝命して



国際・交流事業主査
今城 高之
(横浜つづき)

昨年度に引き続き、国際・交流主査をお引き受けしたつづきクラブの今城高之です。組織改革の中で、部事業主査の役割が不鮮明との思いもありますが、区と部、更には各クラブをつなぐリエゾン役を担ってまいりたいと思っています。本事業が目指すのは「国際理解と国際協力」の増進です。ワイズメンズクラブがグローバル規模で行う様々な事業は全世界のワイズメンの寄付献金がその原資となります。会員の皆さんがこの趣旨をよく理解されますよう周知活動に力を注ぎます。世界規模で実施されるワイズメンズクラブ国際協会の活動をフォローし、会員の皆様と共有して理解促進を図ります。

本事業のもう一つの柱は、DBC/IBC の促進です。クラブの高齢化、会員の減少など、内なる課題山積の中、内外他クラブとの交流活動は二の次になりがちですが、そんなときにこそ、「ワイズの連帯」が力発揮するのではないかと考えます。DBC/IBC を目指すクラブがあれば、部・区を挙げて支援して参りたいと思います。

ユース事業主査を拝命して



ユース事業主査
齋藤 宙也
(横浜クラブ)

思いがけない就任であった。6月でクラブ会長を終え、これで1年間は第1例会だけでいいやと思っていた。しかし、若木さんの栄転に伴い、急きょユース事業主査となった。

会長経験者でないと部役員にはなれないようで、昨年度会長になったことで、期せずして部役員になる権利義務(?)が生じたということになる。最初に行くべきは、ユースボランティアリーダーズフォーラムらしい。昨年、たまたま横浜Y所轄のため行き、多少は場慣れした。今年は、電車とバスで行けるようなので、少しほっとしている(土曜のみ、なんとか時間を作る予定である。)

この先も、区のユース事業主任と提携しながら活動していくことが本来想定されている…が、ロータリークラブの方で、もろにユース事業というべき交換留学生の対応をしなければならない。強いていえば、そこで持ち帰った経験を部の方でもいかしていきたい…ということになるが、行事への参加については期待しないでください。



「佐藤」年度の門出に当って



部監事
鈴木 茂
(横浜つづき)

かながわ部の 2026-2027 年度事業方針として、佐藤節子部長は、主題「一緒にワイズの未来を輝かせましょう」、副題「今を大切に、常に前進！」を掲げ、「輝き」と「前進」を強調しておられます。そこでワイズにおける「輝き」と「前進」とは何かについて、私なりに考えてみました。

私たちが、ワイズメンとしての誇りと喜びをもってワイズ活動に参加する時、私たち一人ひとりが輝きを発揮し、同時に部全体も輝きを増すのだと考えられます。さらに、そうした誇りと喜びをもってワイズ活動へ参加することが、ワイズメン相互の理解と親睦を育み、私たち一人ひとりの成長のみならず、かながわ部全体の前進につながるのではないのでしょうか。

私たち一人ひとりと部全体が輝き、前進するために、佐藤執行部として部の諸活動をどのように展開し、どのように部員全体の参加を促すか、佐藤部長のリーダーシップが期待されるところであります。

私は今年、2年目の監事を務めさせていただきます。佐藤部長をお支えし、かながわ部の「輝き」と「前進」のために、微力ながら働きたいと考えています。

かながわ部今年度の展望



部担当主事
森山真治

今年度の横浜 YMCA の基本聖句は、ペトロの手紙 13 章 11 節「善を行い、平和を願って、これを追い求めよ」です。平和は、ただ願うだけでなく、主体的に行動することの大切さが示されています。今年度のワイズ東日本区主題「挑戦なくして進化なし」はワイズの成長に向けた挑戦の意志が示され、かながわ部主題「一緒にワイズの未来を輝かせましょう」は、仲間と共に輝く未来を創り出していく姿勢が示されています。私たちは、願うだけでなく、自ら一步を踏み出して、挑戦し続け、お互い励まし合いながら歩むことが大切だと実感しています。今年度も YMCA とワイズメンズクラブが共に平和を願い、行動することを大切にしながら、様々な活動に取り組んで参りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



5. 各クラブ会長メッセージ

『つながりを力に、平和な未来へ一歩』



横浜クラブ会長
古賀健一郎

横浜クラブは、歴代会長をはじめ諸先輩方のご尽力により発展を遂げ、横浜 YMCA との協働を通して地域社会への奉仕活動を継続してまいりました。その歩みの上に立ち、クラブを築いてくださった諸先輩方、そして日頃より支えてくださる会員の皆様に心より感謝申し上げます。

2026-2027 年度のクラブ主題は、「つながりを力に、平和な未来へ一歩」といたしました。

私たちは、クラブの仲間との友情、YMCA との協働、地域社会との交流、国内外のワイズメンとの交わり、そして未来を担うユースとの出会いなど、多くの「つながり」に支えられています。このつながりこそが、私たちの活動の原動力であり、ワイズ運動の大きな魅力です。

社会が大きく変化する今だからこそ、一人ひとりを尊重し、支え合いながら、誰もが参加しやすい温かなクラブづくりを進めてまいります。そして、友情と奉仕の実践を通して人と人とのつながりをさらに深め、平和で希望に満ちた地域社会の実現に向けて、一步一步歩んでまいりたいと願っております。

(日本語スピーチコンテスト優勝者と)



「明日を今日より良くしよう、前進」



鎌倉クラブ会長
池田 光司

兵藤ワイズ、板崎ワイズがここまで、かながわ部、鎌倉クラブを引っ張ってきてくださりありがとうございました。私は到底同じようにはできませんが、鎌倉の光を消すことなく、楽しい集まりとしていきたいと思います。充実した卓話、鎌倉散策、チャリティーコンサート、YMCA 事業支援、納涼会、バザー、子ども食堂支援、などに当たります。今年は鎌倉 YMCA 創立 75 周年にあたります。なんとか頑張ります、皆様のご協力ご支援をお願いします。



「活動展望」で思う事



厚木クラブ会長
徳澤 洋子

厚木ワイズメンズクラブは、今期はメンバーの中から、「かながわ部の部長」を出す、恵に預かりました。そこで、ワイズ活動はそこそこ長いのですが、あまり役を担ってこなかった、徳澤洋子が会長として就任することになりました。

ワイズ活動を長くしてこられた、大先輩によれば、「人から頼まれた役は、なるべくならば断らずに受けた方がいいですよ」そう言う、大きな意味を含む言葉につき動かされ、厚木ワイズ、かながわ部、東日本区、アジア太平洋地域、世界区を通して学ばせて頂こうと、と思っています。

今の所、まだ、週4日のペースで医療機関にてお仕事をさせて頂いています。特に土曜日が忙しい状態ですが、何とかさせて頂こうと、と思っています。今期、かながわ部の部長をされる、長くYMCA、ワイズメンズクラブの活動をされて来ました、佐藤節子ワイズと共に活動を頑張りたいと、と思っています。

現実に動ける方々が少なくなりつつある私達のクラブで、創意工夫の基、会長主題として掲げさせて頂いた「一人一人の得意を活かしたワイズ活動を」とかながわ部の6クラブの部員として、部長が掲げていました「一緒に未来を輝かせましょう。」をモットーに、参加して、楽しかった！自分が行っている活動、行動が、隣人の役に立っている、喜んでもらえている、そして、自分の為にもなっている、そういう充実感、満足感を持つ事が出来るような活動を期待いたします。その為に、長

いワイズ活動の中で、顔の広い我クラブの佐藤節子かながわ部長と共に毎月の卓話や、他クラブとの交流に出来る範囲で活動したいと思っています。

かながわ部7クラブ、全会員の質の高い交流を希望いたします。

クラブ再生元年



金沢八景クラブ会長
峯尾 舜

私たちがワイズの主旨に共鳴し参加してから早20年が経過、今年で21年目になります。

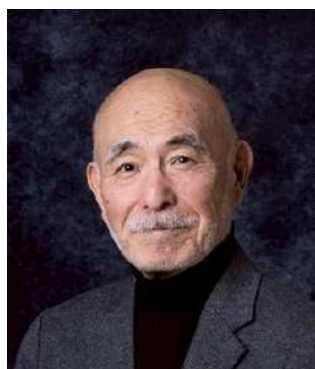
設立当初から「湘南の暴れん坊」を自称し、CS事業、Yサ事業、会員増強事業を積極的に展開してきました。特に清水理事、原理事が主導し推進した2000プロジェクトの際には、沖縄、横浜関内の2クラブを同一年度にチャーターし、120名を超える新入会員を獲得し東日本区の会員増強に大きく貢献しました。

しかし近年は、コロナの影響により地域支援者との絆が希薄になる等々の理由から、設立当初と比べクラブの活動が後退しているのが現状です。

そうした現状を打破し「湘南の暴れん坊」復権のため、そして活気ある「ワイズライフ」、明るく楽しい「ワイズライフ」構築のため、本年をクラブ再生元年とし地域の支援者と共に手を携え、メンバー全員一丸となってワイズ活動普及に汗を流していきます。



2026-27 年度の横浜つづきクラブ



横浜つづきクラブ会長
今城 高之

クラブ主題 あなたの『やりたい!』が誰かの笑顔に ～楽しくなければワイズじゃない～
今年度掲げた主題とスローガンです。創立 21 年目に入った今年度は、クラブメンバー間の議論を促進し、その結果を踏まえての「会員増強」に力を注ぎたいと考えています。我がクラブは、ここ数年 16 名規模を維持し、「ノン・ドロップ賞」を受賞したりもしましたが、言い換えれば、メンバーは固定化して新しい加入者がいなかったことになります。これからのクラブ活動の担い手たる新たなメンバーを得てより活発な、より楽しいクラブにする年度となるよう努力します。個別プログラムで言うと 14 回目を迎える、You & I コンサートの開催です。従来の都筑公会堂に会場を戻し、これまで以上の来場者動員を目指します。10 月 24 日(土)のコンサートには、かながわ部の皆様も是非ご来場ください。主題に掲げたように、「誰かの笑顔」を求める年度でもあってほしいと願っています。「地域の弱い立場の人たちに寄り添う」、というクラブ設立時の思いに再度立ち返る年度とします。

(つづきクラブ新役員就任式の様子)



(部長公式訪問-楽しくなければクラブじゃない)



2026 年度の「つるみクラブ」



横浜つるみクラブ会長
久保 勝昭

2026 年 1 月 15 日（木）新年例会を実施。クラブのチャーターは 2019 年 6 月だから 7 月の例会からは 7 年目に入る事になる。早いもので、あっという間であった。

5 年目の時に記念例会を考えていたが”コロナ禍”の影響が多少残っていたので出来なかった。2029 年には記念例会が出来るように今から準備を始めたい。

1 月 17 日（土）横浜 YMCA とかながわ部の新年会が中華街の廣東飯店で開かれました。クラブの参加はゲストを含め 10 名。ワイズの楽しさに目が向いて来たことを誇らしく思った。この時のゲスト後藤美紀さん、小崎侑里子さんの 2 名が入会し 13 名となった。前期はコロナ禍も多少落ち着き例会、イベント、ボランティア活動も比較的やり易く今までに無く忙しくやってきました。今期も前期と同じように「うたごえ広場」「各ブランチのおまつり」「横浜 YMCA のイベント」等の参加に身体の許すかぎり「友に支え合い」「ともに喜び」を分かち合いましょう。

クラブチャーターから 3 年目を迎えて



大和クリエイティブYサー
ビスクラブ会長
小松 伸史

2026 年 11 月にチャーターから 3 年目を迎えます。多くの会員の、みな様はワイズ経験がなく YMCA の事も良く分からない状態でした、その中で大和 YMCA のグループホームのみな様に民謡で楽しんでいただいたり、和太鼓や楽器演奏と歌で楽しんでいただいたりのイベントを 2 回行いました。今年度は大和 YMCA にて、ミュージカルの一日体験を 8 月に行い、音楽の楽しさを広く体験して頂けたらと思います。少しずつ、このミュージカル一日体験を増やしていき地域のみな様のより所にして行ければと思っています。（ミュージカルは、本場ブロードウエーミュージカルの経験者の指導で行います）

ワイズの会員増強は YMCA をより多くの方に知ってもらう事が何より大切と考えます。

（7 月例会と部長訪問）



6. 熊本地震 YMCA 緊急支援募金のお願い

(1) 横浜 YMCA 熊本地震 YMCA 緊急支援募金のお知らせ

横浜 YMCA は、熊本 YMCA の支援及び熊本地震救援・復興支援を用途とした緊急支援募金を開始いたします。 皆様の御協力に心よりお願い申し上げます。

【2026 年 7 月熊本地震 YMCA 緊急支援募金】

◆募金期間：2026 年 12 月 31 日まで

入金コード：ZM ※2026 熊本地震と明記ください

◆募金使途：

- ・熊本 YMCA 支援募金
- ・熊本地震救援・復興募金

* 詳細は随時、ウェブサイトでお知らせします。

https://www.yokohamaymca.org/emergency_text/202607kumamoto/

【募金方法】

各 YMCA の窓口へ直接お持ちいただくか、郵便局、下記フォームにて募金にご協力ください。

郵貯振替：ゆうちょ銀行 ○二九店 当座預金 0002878 ザイ) ヨコハマワイエムシーエー

* 通信欄に「2026 熊本地震」とご記載ください。

(2) 熊本地震ワイズメンズクラブ東日本区募金振込口座

これから募金を集められるクラブ様、または送金予定のクラブ様につきましては、東日本区にて一括して資金を取りまとめ、責任を持って被災地等へ送金させていただきます。 募金は以下の「ゆうちょ銀行」の東日本区口座へお振込みをお願いいたします。

【お振込先口座】 ・郵便局をご利用の場合 青色の「ゆうちょ銀行振込取扱票」を使用しご送金ください。 ゆうちょ銀行 口座番号：00110-0-362981

【⚠ お振込み時のお願い】 東日本区の他の入金と区別し、確認作業をスムーズに行うため、振込名義（お名前やクラブ名等）の後に必ず「(熊本)」または「(クマモト)」を加えていただければと大変助かります。 （入力例：ワイズクラブ (クマモト)）

東日本区が一体となって被災地への力強い支援を届けるため、皆様の温かいご支援とご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

東日本区 CS・Y サ事業主任 深澤 勇弘（熱海クラブ） Mail：fukasawa@fukasawa-kougyou.jp



7. かながわ部大会のお知らせ



ワイズメンズクラブ国際協会東日本区

第30回かながわ部大会 2026

2026年10月11日(日)15時～17時30分

会場：湘南とつかYMCA 1階ホール
(JR、ブルーライン戸塚駅から徒歩 5 分)

懇親会18時から

第1部 部大会 (15:00～15:40)

1. 開会点鐘	佐藤部長
2. ワイズソング・ワイズの信条	一同
3. 今月の聖句と祈禱	(今後決定予定)
4. 部長挨拶	佐藤部長
5. ゲスト・ビジター紹介	佐藤部長

第2部 ユースアクションプログラム活動報告 (15:40～16:00)
(一般社団法人 Reaching Zero-Dose Children 発表者 片桐碧海氏)
————— (休憩10分) —————

第3部 ミニミュージカル上演 (16:10～16:50)
(クリエイティブ・アーツ・トウキョウ 竹田美奈子様他)

- 記念撮影 (17:00) ・ 移動 (17:20～)
- 懇親会 (戸塚駅近く) (18:00～20:30)

◆会費 部大会1,000円、懇親会5,000円(当日会場にてお支払いください)

◆申込み ○かながわ部の会員は各クラブ会長が出席者をまとめて 10月3日(土)までに坂口宛に下記メールでお知らせください。

○かながわ部会員以外の方は、下記のメールまたはQRコードから必要事項(お名前、連絡先、所属クラブ、参加方法等)をご記入の上、10月3日(土)までにお申込みください。オンライン(Zoom)でのご参加も可能です。お申し込み後 ID、パスコードをお知らせします。

◆申込先 かながわ部書記 坂口直樹 (ysclub.kanagawa@gmail.com)

協力 横浜 YMCA





登録はここから

※別途、各クラブ宛に取り纏め申し込みのご案内いたしますが、事前申し込みも受け付けます。

8. かながわ部の主な行事予定

年	月	区強化月間	日	曜	東日本区・国際	日	曜	かながわ部	日	曜	横浜YMCA・YMCA
2026	7	キックオフ	10	金	各クラブ前期半年報告提出 (クラブ会長→東日本区)	9	木	部長クラブ公式訪問(つるみ) 16:00～			
		PR	11	土	第1回東日本区役員会	9	木	部長クラブ公式訪問(横浜) 18:30～			
			31	金	前期区費請求書発送	15	水	部長クラブ公式訪問(大和) 18:00～			
						18	土	第1回評議会15時～(中央Y)			
						20	月	部長クラブ公式訪問(八景) 16:00～			
						24	金	部長クラブ公式訪問(つづき) 17:30～			
	8	戦略2032	15	土	前期区費納期	1	土	8/7-8/9第33回AIDS文化フォーラム	1	土	8/7-8/9第33回AIDS文化フォーラム
			22	土	臨時代議員会(WEB)						
						27	木	かながわ部合同納涼会			
	9	EMC	4	金	9/4-9/6第38回YVLF(八王子)	1	火	第111回Y-Y's協議会	1	火	第111回Y-Y's協議会
			10	木	国際大会(マレーシア)	4	金	9/4-9/6第38回YVLF(八王子)	23	水	YMCAフェスタ
	10	ASF				11	日	かながわ部大会(とつかY)15時～	17	土	第29回チャリティラン
						24	土	第14回You & I コンサート	24	土	第14回You & I コンサート
						未定		次次期部長選考委員会(中央Y)			
	11	iGo+STEP	10	火	ワイズデー						
			28	土	部長・事業主任研修(現・次期)						
	12	キリスト教理解	8	火	祈りの輪	1	火	第112回Y-Y's協議会	1	火	第112回Y-Y's協議会
		IBC							19	土	YMCAクリスマス礼拝
2027	1	EF	10	日	各クラブ後期半年報告提出 (各クラブ→東日本区)	16	土	第2回評議会15時～(中央Y)	16	土	Y-Y's新年交流会
		JEF	31	日	後期区費請求書発送	16	土	Y-Y's新年交流会			
			31	日	次期部役員・クラブ会長報告						
	2	TOF	15	月	後期区費納期				11	木	横浜YMCAピースフォーラム
		FF	15	月	各種献金納期(クラブ→区)						
		HTW									
	3	CS・Green P.	15	月	代議員会告示	2	火	第113回Y-Y's協議会	2	火	第113回Y-Y's協議会
		ワイズメネット									
	4	W4W	17	土	4/17-18第3回東日本区役員会 (現・次期合同、中間決算)						
		RBM	17	土	4/17-18次期クラブ会長・部役員 研修会(東山荘)	17	土	4/17-18次期クラブ会長・部役員 研修会(東山荘)			
	5	LT	10	月	代議員会議案送付	15	土	かながわ部合同交流会(三浦Y)	29	土	横浜YMCA会員総会
		ユース	15	土	JEFエントリー締切						
			22	土	第4回東日本区役員会 (Zoom)						
	6	YMCAサポート	5	土	代議員会(札幌)	1	火	第114回Y-Y's協議会	1	火	第114回Y-Y's協議会
2027	6	評価	5	土	第30回東日本区大会(札幌)	5	土	第30回東日本区大会(札幌)			
2027	6		12	土	西日本区大会(近江八幡)	26	土	第3回評議会15時～(中央Y)			

9. 国際会長主題「ブルーミュージック」とは

(東日本区理事方針抜粋) <https://ys-east.or.jp/member-top/policy#gsc.tab=0>

次期国際会長のヨハン・ヴィルヘルム・エルトヴィックの主題は「ブルーミュージックで眠れる巨人を目覚めさせる」です。

ブルーミュージックは自由や思いやり、ゆとり、一人ひとりの願いや才能の発露などさまざまな要素の象徴となっています。形式や慣習などを荷として一旦肩からおろし、頑なさを捨て、友との語らいの中で夢と希望を奏でながら世界で明るく響き渡る爽やかで調和のとれたハーモニーというイメージが、R D Eサミットでは繰り返し表現されていきました。

ブルーミュージックは哲学的・情緒的な視点をもってゆとりと自由さを持ち込もうとする試みであると思います。

彼の方針を聞いていて我々の今までの試行錯誤は間違っていなかったと自信を持っています。「ブルーミュージックの究極の到達点は充実したクラブライフである」とも思うからです。

ブルーミュージックについては、理事通信やワイズドットコムにて適時お伝えをしていきたいと思います。みなさんにワイズの強みとクラブの強み、特色とはなになのかを共に問い続けたいと思います。

【アピール動画】

・国際が作ったアピール動画に字幕を付けたものがございます。3分30秒で調子良くまとめられており、私の結論。「結局、何とでも解釈できるノリでしかない」と思える好事例と思いますので一回必ず見てください。

https://drive.google.com/file/d/100mCr51oNeXjFp_2LrDsqaAa3lanP4nX/view?usp=drive_link

【編集後記】

佐藤年度の始まりにあたり、東日本区役員、かながわ部役員、そして各クラブ会長をはじめ、皆さまから今年度の抱負を中心に温かいメッセージをいただきました。日本の人口推計を鏡に映すようにクラブ会員の減少傾向が見られる中、今回の部報編集は「ワイズライフとは何か」をもう一度見つめ直す素晴らしい機会となりました。

「楽しくなければクラブじゃない」――ですが、ただ楽しいだけでもクラブではありません。佐藤部長のスローガンにある「温もりのある居心地の良い居場所づくり」や「常に輝く」という言葉は、私たちワイズメンズクラブ自身がそうあるべきだということに留まりません。地域社会や未来を担うユースに向けて、そのような居場所と温もりのある奉仕の提供の大切さを示しているのだと深く共感いたしました。その奉仕の実践こそが、巡り巡って私たちのワイズライフに鏡のように反射し、一人ひとりの輝きを少しずつ強めていくのではないのでしょうか。

(かながわ部書記・横浜つづきクラブ 坂口 直樹)

※部報や、ワイズメンズクラブかながわ部についての問い合わせは下記メールをお願いします。

かながわ部メール ysclub.kanagawa@gmail.com

